



香港事務所

NCB 海外レポート

香港『食』のビジネスチャンス⑤

～香港の食品ロスと日本の MOTTAINAI～

◇ 「食得是福」と「食品廃棄」

- ・香港には「食得是福」という言葉があります。この言葉には「食べることは福に繋がり幸せであること」という意味が込められており、香港の人々が皆で円卓を囲み、楽しく話しながらおいしい料理を味わうことを至福の時間であると考えていることが表れています。
- ・一方、香港では 2020 年時点で、1 日当たり約 3,255 トンの食品廃棄物が埋め立て処分されている現実もあります¹。香港政府の過去の調査によると、香港の住民が 1 日に排出する食品廃棄物は 1 人当たり 1.36 キロで、東京 (0.77 キロ)、ソウル (0.95 キロ)、台北 (1.00 キロ) を大きく上回っています²。



香港の代名詞
「飲茶」



路面飲食店の風景

◇ 食品ロスが多いのはマナーが原因？

- ・中華圏には「食事は一口分を残すのがマナー」という考え方があります。これは昔、食事をもてなされる人が、「もてなしに満足した」という意味で一口分を皿に残したことに由来しています。逆に食事をもてなす人は、十分な料理を用意できないという印象を客人に与えないために、皿が空になったら、追加の料理を提供し続けるという、「おもてなし」を重視する考え方も、このマナーには表れています。
- ・しかし、近年では、香港政府が食品ロスの削減に関する方針を示したことや、2020 年に中国本土で過剰な食品廃棄を罰する法律が施行されたことなどにより、食品ロスに対する人々の意識は徐々に変化してきています。

◇ 食品ロスの削減がビジネスチャンスとなる可能性

- ・香港政府は、食品ロスを含めたゴミの削減とリサイクルの促進により、2035 年までにゴミの埋め立て処分をゼロにする目標を掲げています。
- ・これに加え、政府は工業化率向上策の一環として、食品製造を含めた様々な業種に対する支援方針も示しており、1 社あたり最大で 3,290 万香港ドル (約 5.6 億円) を支給する補助制度が構築されています³。
- ・今後、香港で食のビジネスに携わる際、食品ロスの削減も重要な着眼点となりそうです。食品輸出や飲食店の進出だけでなく、日本のリサイクル技術や「もったいない (MOTTAINAI)」の文化も伝えていくことも、これからのビジネスチャンスになるものと感じています。



廃棄物削減に関する
リーフレット

2022 年 8 月 8 日作成

西日本シティ銀行香港駐在員事務所

¹ 出所：香港政府 観光保護署 ホームページ (2021 年)

² 出所：香港政府 環境局 (現 環境及生態局) レポート (2013 年)

³ 出所：香港生産力促進局 資料 (2022 年)、1 香港ドル=17.15 円で算出